

### 選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



#### 井上 昌己 (長崎/86期)

今年は(山崎)賢人が出てきたんで自分は気楽に。地元で(九州を)まとめられる存在になればと思ってますよ。現状からは大きなことは言えないけど、練習の感じは悪くない。あとはどこかレースで思い切ってまくり切るとか、そういうことができれば変わってくると思う。4回目の地元記念優勝に向けてですね。

#### 山崎 賢人 (長崎/111期)

競輪祭は調子は問題なかったけど、気持ちが足りなかったと思います。まだまだ力も足りないので、しっかり練習します。地元記念はまずはしっかり勝ち上がれるようにしたいですね。決勝で九州ラインをしっかり作って、決められるように。優勝を意識して、期待に応えられるように頑張ります。



#### 林 大悟 (福岡/109期)

デビュー当時から戦法は先行一本。S級でもその姿勢に変わりはなく、連対はほぼすべて逃げてのもの。10月熊本記念 in 久留米3④⑧①着でも先行力を猛アピール。3度目のG3参戦で更なる飛躍を果たすか。



#### 月森 亮輔 (岡山/101期)

一般戦で苦戦していた時もあったが、9月青森記念3①①⑥着など、最近は優参率が大幅アップ。直近4カ月の競走得点は106点台。ヨコの動きも視野に入れた柔軟性をもたせた立ち回りを演じて台風の目と化すか。



#### 鈴木 謙太郎 (茨城/90期)

落車負傷の影響で1カ月半欠場。復帰後はなかなか調子が上がらなかったが、ここに来てスピードが甦ってきた。11月岐阜1①②着の決勝はジャンから突っ張って粘っていて、航続距離も伸びてきている。

## KEIRIN EVOLUTION

12/24 (最終日) 6R

KEIRIN EVOLUTION とは

国際ルールになったケイリン  
スポーツ性が高くシンプルなルール

格が違う坂本貴史

記念開催で行なわれる最後のケイリンエポリューションは、坂本貴史が貫禄を見せる。坂本はかつてナショナルチームに所属し、エポリューションは16年玉野でボスの2着がある。そして、今年の地区プロでもチームパシユート、チームスプリントの2種目でともに1位と、カーボンフレームでは一段と存在感を増すのは今も変わらない。また、最近の成績も上々となれば、自力で他を圧倒するはずだ。

14年松戸でのエポリューションで波乱を呼ぶVを飾っている池田憲昭の存在が気になる。まくり連発の近況からも一発ムードが漂う。地区プロのスプリントで2位に入った岡本総、16年7月小松島エポリューションでは3着の椎木尾拓哉にも警戒。



坂本 貴史